

建設産業における ワーク・ライフ・バランス
の実現にむけて

ひとつ「働き方」を変えてみよう!



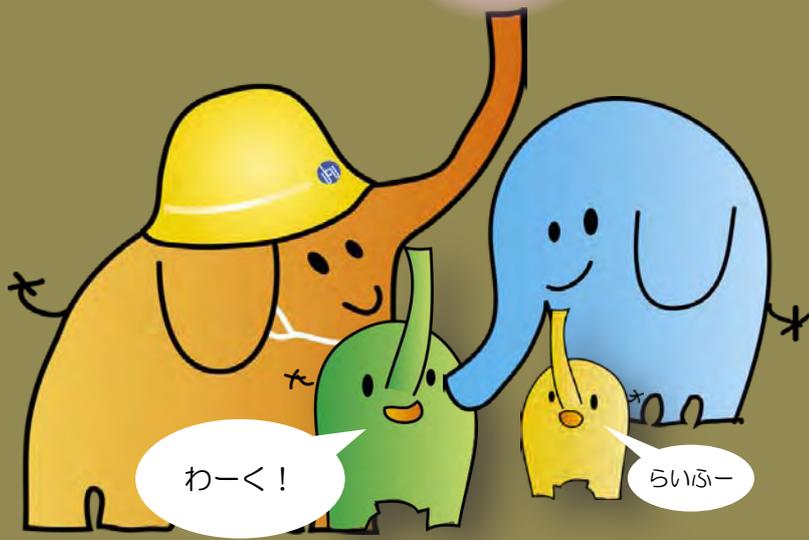
カエル! ジャパン
Change! JPN

R48^{週 休} ROADMAP

[アールよんぱち] 2010.11.8 No.5

11月13日は 統一土曜閉所

さあ、週末の予定は立てたかな? しっかり休んで、いい仕事。建設産業も、ワーク・ライフ・バランスだゾウ!



土曜閉所

2010年11月統一土曜閉所運動
ワーク・ライフ・バランス推進の取り組みとして

内閣府 政策統括官 (共生社会政策担当) **が後援**

次世代

2010年度『日建協出前講座』スタート
**出前講座で伝える
産業の魅力**

コラム

日建協本部 TKB48 さん
**えっ、もう完成?
スカイツリー**

次号予告

■賞
WLB大賞 優秀賞受賞

■提言活動
■コラム

お知らせ

「Roadmap48」とは
建築工事の4週8休(週休2日制)での工期設定の実現や、公共工事における労働条件向上と諸課題の解決にむけた提言活動など、日建協の活動を組合員の皆さんに知っていただくための広報誌です。

①組合活動の資料として、②職場での情報交換の材料としてご活用ください。

- 次号の予定は変更する場合があります。
- この広報誌は日建協ホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikkenkyo.com>
NIKKENKYO NEWS をご覧ください。

日建協

出前講座で伝える産業の魅力



(上) 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科で講義の様子。日建協加盟組合より講師を招き、入社からのモチベーションの変遷などを交えながら、実際のしごとの内容などをわかりやすく紹介。

(下左) 参加者の様子。学部3年生を対象に行った今回は、女子学生が2割弱を占める。

(下中) 社会資本整備の役割について講義。

(下右) 講義後には、加盟組合からの参加者数名が分かれ、グループ毎に学生と意見交換。参加者65名。



日建協は、このほど、2010年度『日建協出前講座』を開始した。10月7日の法政大学を皮切りに、名古屋工業大学（11月12日）、東洋大学（同月19日）、大阪工業大学（12月1日）で実施する。

この出前講座では、建設産業の魅力（社会的役割の高さ・創造する喜び・高度な技術力・仕事の達成感）を中心に、社会資本整備の重要性や、ゼネコンの社会的役割についても、次世代を担うより多くの大学生に伝えていく。

業務内容について、わかりやすく伝えている。講師を加盟組合から招いているのも特徴だ。実際にゼネコンで働いている技術者の生の声を伝えることで、大学生も、よりリアルに建設業をイメージできるようだ。

2006年秋より実施されているこの出前講座も、受講者が延べ1千名を超えた。日建協は今後も、建設産業の魅力をも、建設産業の魅力を、次世代を担うより多くの大学生に伝えていく。

コラム

えっ、もう完成？スカイツリー



日建協本部 TKB48 さん

休みを利用して、行ってきましたスカイツリー！この写真を見て、「おやっ、まだ完成していないはずでは？」と、そう思う人も多いかもしれませんね。

それもそのはず、これは25分の1のミニチュアなんです。ミニチュアと言っても高さは25M（マンション8階くらい）もあるので、かなりの迫力です。本物はきっとすごいんでしょうね。実物をつくっているみなさん、本当にご苦労様です。

ここはご存知、栃木県日光鬼怒川にある東武ワールドスクエア。数々の世界遺産のミニチュアが鎮座するお馴染みのスポットですが、いつ行ってもカメラ片手に写真を撮る観光客でいっぱい。みんな建築物や構造物が大好きなんですね。見るだけでなく造る魅力も伝えたい、なんて考えていたら、ちょっと疲れて(?)しまいました。でも、見応え十分で勉強になりますよ。

これも一つの休みの過ごし方かな。。



土曜閉所 2010年11月統一土曜閉所運動

内閣府 政策統括官 が後援

(共生社会政策担当)

2010年11月の統一土曜閉所運動より内閣府政策統括官（共生社会政策担当）の後援を得ることになった。これまで一部の労働局の後援は得ていたが、中央省庁からの後援は今回が初めて。

日建協加盟組合が長年にわたり連帯し、労使協働でワーク・ライフ・バランスの実現にむけて取り組んできたことが認められたと言えよう。さらには建設産労懇の仲間とともに、建設産業全体への浸透に取り組んできた

事も評価のポイントだ。この後援をきっかけに、日建協は統一土曜閉所運動を推進し、建設産業のワーク・ライフ・バランス実現にむけた活動を加速させる。



(注) 建設産業労働組合懇話会の略称。日建協・全電工労連・建設連合・道建協・通建連合・長谷工グループ労組で構成された建設産業の労働組合の集まり。組合員数の合計は約11万人。

(左) 統一土曜閉所運動ポスター (2010.11.13)
(下) 同ポスター後援者 (拡大)

